

日本学術振興会 卓越研究成果公開事業
「発見と発明のデジタル博物館」について

本事業は日本発の卓越した研究成果を広く一般に公開することを目的とし（*1）、主に、本事業に参画する学協会（*2）が優れた研究業績として表彰・顕彰を行った研究成果を選定し、分野ごとに分類して紹介しています。

国立情報学研究所のWebサイト（<https://dbnst.nii.ac.jp/>）において、

- ・ [専門向け] 研究者や技術者
 - 日本語 <https://dbnst.nii.ac.jp/pro/>
 - English <https://dbnst.nii.ac.jp/english/>
- ・ [入門向け] 中学生以上
 - 日本語 <https://dbnst.nii.ac.jp/junior/>

の3種類のデータを公開しています。

「発見と発明のデジタル博物館」へは、1ヶ月あたり1万5千件程度のアクセスがあり、活用されている状況です。

電気学会では、電気学術振興賞・進歩賞の受賞成果を推薦しています。

（*1）大来雄二：「卓越データベース」、電気学会誌 133 巻 11 号、2013 年、pp. 748-751

（*2）参画する学協会

分野	参画機関
電気・情報関連	電気学会、映像情報メディア学会、情報処理学会、照明学会、電子情報通信学会
機械	日本機械学会
数学	日本数学会
物理	仁科記念財団、応用物理学会
化学	日本化学会
材料	日本セラミックス協会、日本金属学会 (高分子学会)
生命科学	日本生化学会、(バイオインダストリー協会)
薬学	日本薬学会
医学	日本癌学会
土木	土木学会
建築	日本建築学会
農学	(日本農学会)
複数分野	稲盛財団、(東レ科学振興会、国際科学技術財団)

() の機関は、公開準備中。(2018年2月現在)